

和地ひとみレポート No.137

教育の日やまと「学力向上 東大和市の取り組み」 市民の教育への期待と先生方の意識…



■「学力向上 東大和市の取り組み」の発表

…10月29日午後、『教育の日やまと』の一事業として「学力向上 東大和市の取り組み」がハミングホール大ホールにて発表されました。当日は市内の小中学校の教員の他、地域で活躍されている青少年対策地区委員会の方、また入場が自由ということもあり保護者の方々など大勢の方が参加し、会場はほぼ満員状態。多くの方が学力向上への取り組みに大きな関心を寄せていると感じました。

…会の第一部では、今年作られた「うがい・歯みがきの歌『歯もピカピカ 心もピカピカ』』という歌が第二小学校の3年生の合唱により披露されました。実は東大和市の児童生徒は、むし歯の被患率や未処置歯が多く、都内区市町村と比べても高い水準。この現状を改善するための取り組みの一環として作られた歌を元気に歌う児童たちの姿は、とても微笑ましく、会場からも大きな拍手が送られました。また、この夏に初めて開催された「アメリカンサマーキャンプ」に参加した中学生からは英語での自己紹介、キャンプに参加した感想などが発表されました。この発表から、この事業は長く継続して欲しいと改めて感じました。

■各中学校区の取り組みは

…会の第2部では、メインの「学力向上の取り組み」が発表されました。最初に教育委員会から「東大和市の児童・生徒の学力の状況」について報告され（裏面参照）、新たに市内全校で開始した「東京ベーシックドリル」の活用について説明がありました。この「東京ベーシックドリル」は、『小学校卒業までに、小学校4年生までの学習内容を確実に身に付ける』『授業中、家庭学習、補習教室等で各校が工夫して活用する』ことを目的に作られたもので、テーマごとに児童生徒の理解できていない点について発見でき、そこを補えるような内容になっているものとの説明があり、この活用が学力向上に有効だとのことでした。

…現在、東大和市は小中一貫教育をすすめているため、中学校区内の小中学校の先生方が研究グループなどを作り、様々な取り組みをしています。そこで、その後は各中学校区の独自の取り組みと成果を発表するコーナーとされました。今回の発表会の冒頭では教育委員会より「隣がどのような取り組みをしているかは、あまり知る機会がない。ぜひ、今日は他の中学校区の取り組みを知り、今後活かして欲しい」との話もあったため、今回は「東京ベーシックドリルをどのように活用しているか」など、実際の授業などに活用できる内容が発表されると予想していましたが、実際の発表内容は、少々期待していたものとは違い、残念なものでした。

…どうして残念だと感じたのか。それは、具体的にどのような取り組みをしているのかわからない、学校紹介のような内容にとどまっている、取り組みの結果を発表した学校区は全て「残念ながら昨年より学力が低下しました」とグラフを使って発表するという状況だったからです。唯一、第四中学校区の発表が具体的にドリルをどのように活用しているかが説明されたのみ。発表会のテーマである「学力向上への取り組み」というものが感じられない発表となっていたこと、また、結果が出ていないことに対して、今後どのように改善していくのかという点にも触れられていなかったことにより、今回の発表会の目的は何なのかと首をかしげてしまいました。

■先生たちの意識は

…最初に述べたように、当日は大ホールがほぼ満席。そして、先生方についてはステージ前のブロックに座席が指定され座っていましたが、発表の間、3分の2以上の先生方が頭をすっかり落として寝ている状態でした。地域の方々、市民の参加者はその後ろの席となっていました。先生方が眠っている様子が丸見えです。その状況が目にしたため、途中の休憩の際に参加していた私や他の議員が教育委員会に先生たちに注意をするように申し出たほどでした。

…先生たちも疲れているのかもしれませんが、東大和市が課題としている学力向上についての内容の会なのですから、もっと緊張感を持って参加してもらいたい。まして、地域の人、市民が同じ会場にいるにも関わらず居眠りでは、それを目にした人はどんな感想を持つかということも意識して欲しいと思いました。

…全ての先生が、同じような意識だとは思いませんし、熱心に取り組んでいる先生も多いことは事実です。また、教育委員会も様々な新しい取り組みを行っています。しかし、実際に子どもたちと接する先生方の日常的な何気ない言動が子供たちに対して一番大きな影響力を持っていることをもっと意識して欲しいと思います。

…最近、市民の方から道で会っても挨拶をしない先生が多いという声を数回耳にしました。奇しくも11月は教育委員会で定めた「あいさつふれあい月間」です。教育委員会では、学校、地域、家庭が連携して、子どもたちを育てていこう、学校は地域とのつながりが大切だとのメッセージを様々な場面で発しています。学力向上は東大和市の大きなテーマとなっていますが、学力以前の『大切なこと』を先生方が自ら子供たちに示していくことが重要だと教育長に提言させていただきました。

全国学力・学習状況調査結果より

■小学校:国語の全国平均正答率と東大和市の平均正答率との差

	平成 24年度	平成 25 年度	平成 26 年度
国語 A(主として知識に関する問題)	マイナス3.9	マイナス6.2	マイナス3.1
国語 B(主として活用に関する問題)	マイナス6.0	マイナス3.7	マイナス4.8

■小学校:算数の全国平均正答率と東大和市の平均正答率との差

	平成 24年度	平成 25 年度	平成 26 年度
算数 A(主として知識に関する問題)	マイナス5.1	マイナス4.0	マイナス3.5
算数 B(主として活用に関する問題)	マイナス2.8	マイナス4.4	マイナス3.6

■中学校:国語の全国平均正答率と東大和市の平均正答率との差

	平成 24年度	平成 25 年度	平成 26 年度
国語 A(主として知識に関する問題)	マイナス2.1	マイナス3.0	マイナス2.1
国語 B(主として活用に関する問題)	マイナス2.0	マイナス2.5	マイナス3.1

■中学校:数学の全国平均正答率と東大和市の平均正答率との差

	平成 24年度	平成 25 年度	平成 26 年度
数学 A(主として知識に関する問題)	マイナス4.4	マイナス1.0	マイナス3.9
数学 B(主として活用に関する問題)	マイナス4.8	マイナス2.4	マイナス4.2

■アンケート:授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか(小学校)

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
全国	50.9%	31.1%	13.8%	4.2%
東京都	50.8%	31.2%	13.6%	4.4%
東大和市	38.8%	36.5%	17.5%	6.9%

■アンケート:授業では、友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか(中学校)

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
全国	31.3%	44.0%	19.9%	4.6%
東京都	29.7%	44.7%	20.9%	4.6%
東大和市	23.3%	48.6%	23.3%	4.6%

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」 【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。/同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
 ✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
 〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102